

令和5年 合同合唱祭

第36回
久比岐野合唱フェスティバル
第52回
上越市民芸能祭合唱のつどい

と き 令和5年7月9日 10時30分開場 11時開演
ところ ユートピアくびき希望館 多目的ホール

入場無料

※営利を目的としたビデオ撮影等をご遠慮ください。
※演奏中は携帯電話をマナーモードにしてください。
※ホール内での飲食・喫煙は禁止されております。

主催 久比岐野合唱連盟・上越市民芸能祭協議会・上越市
主管 くびき火曜会・コーラスおおがた・コーラスゆりかご

講師紹介

後藤 丹 先生

《プロフィール》

新潟県出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。主な作品に合唱組曲《気球の上る日》（音楽之友社）、同《みまかれる美しきひとに》（全音楽譜出版）、弦楽四重奏《朱鷺は輝く大地に》、わらべ歌によるパラフレーズ《遊びをせむとや生まれけむ》（全音ピアノピースNo.549）、《北前船西廻り航路》（全音ピアノピースNo.550）、ピアノ曲集『風透る街に』（全音、同C Dがフォンテックより発売）、無伴奏混声合唱のための《木にたすねよ》（全音）など。編曲では全音から《パッヘルベルのカノン》ピアノ版、フォーレ組曲《ドリー》ピアノ独奏版、チャイコフスキー《くるみ割り人形》連弾版、《動物の謝肉祭》独奏版/連弾版、など二百曲以上が出版されている。また「おいしいピアノ・レシピ」「祈りのバッハ」「ジョプリン・ピアノ名作集」などの音楽解説も手がける。日本音楽表現学会副会長、会長を歴任。上越教育大学名誉教授。

プログラム

1 春日山荘コーラス教室（上越市・50名） 指揮 片所真理子 ピアノ 渡部 純子

季節の色 岩沢 千早 作詞 大熊 崇子 作曲
種 半崎 美子 作詞 半崎 美子 作曲 西澤 健治 編曲

当合唱団は1987年4月、高齢者趣味の教室の1つとして誕生。片所先生のご熱心な指導の下、童謡から心温まる名曲まで合唱を通して、会員の親睦を深め音楽を楽しむことを目的に活動しております。

2 コーラスおおがた（上越市・11名） 指揮 丸山美佐子 ピアノ 大口 恵美

女声合唱のための昭和ノスタルジー「花びらあそび」より 小野興二郎 作詞 源田俊一郎 作曲
花びらあそび
風鈴りんりん

こんにちは！久しぶりの久比岐野参加です。活動を休止していたブランクを少しずつ埋めていこうと無理をせず練習しています。やっぱり合唱は楽しいなあ。合唱人口が増えますように祈りながら。

3 メールクワイア 3 1/2（上越地域・10名）

殖生の宿 里見 儀 作詞 H.R.ピシヨブ 作曲 増田 順平 編曲
うたごえびく 丹治 汪 作詞 ドイツ民謡 メールクワイア 3 1/2 編曲

平均年齢80歳超、60歳以上の男性であれば経験を問わず誰でも参加できるアカペラ爺さん合唱団です。正直言ってレベルは高くありませんが、とにかく気軽に歌っています。木曜の午後からオーレンブラザで練習しています。

4 高田高校合唱部（上越市・35名） 指揮 竹田 光 ピアノ 大澤 玲子

高田の四季 町田 太郎 作詞 町田 太郎 作曲 後藤 丹 編曲
あなたがいる 谷川俊太郎 作詞 後藤 丹 作曲

1年生18名、2年生7名、3年生10名で活動しています。今年度は、鹿児島県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場し、本日演奏する2曲を歌ってきます。高田の情景や魅力が伝わるよう精一杯演奏します。

5 くびきのJr.ユースクワイア（上越地域・18名） 指揮 金子 央 ピアノ 上野 一栄

Chessboard 藤原 聡 作詞 藤原 聡 作曲 横山 潤子 編曲

皆様こんにちは。私達は、新井中学校と春日中学校の合同合唱団です。お互いの学校から刺激をもらい合いながら練習を進めてきました。今日は、大好きな金子先生の指揮で歌えることに感謝しながら楽しんで歌います。

6 Choir Sprout（上越地域・7名） 指揮 芳賀 弘善

アダジオ 立原 道造 作詞 望月 竜太 作曲
酒 頌 林 望 訳詩 上田 真樹 作曲

数年ぶりに活動を再開しました。各地に住む仲間と歌うことができ、うれしく思います。今日は先日行われた当団の指揮者の結婚披露宴で演奏した曲を精一杯歌います。

7 上越教育大学混声合唱団（上越市・13名） 指揮 櫻井 俊介 / 加藤 帆高

Greetings 清水 雅彦 作詞 千原 英喜 作曲
翼 みなづきみのり 作詞 北川 昇 作曲

私たちは、毎週水曜日と金曜日に楽しく学生主体となって活動を行っています。穏やかな団員たちが集まると家族のような温かさが生まれてとても居心地の良い合唱団です。皆様に素敵な合唱をお届け致します。

8 合唱団 くびき火曜会（上越市・14名） 指揮 高橋 利恵 ピアノ 三垣 亮子

「女声合唱とピアノのためのみらいのうた」より
みらいのうた 栗原 寛 作詞 大藤 史 作曲 高橋 直誠 編曲
もう少し

皆んなと集い歌を歌いたい・・・しかし当たり前なのが出来ない窮屈な生活をしいられた3年間、私たちくびき火曜会もやっと笑顔で表現できる日がやってきつつあります。この久しぶりのステージ感謝して楽しみます。

=== 休 憩 ===

9 Coro Piacere (上越市・3名)

指揮 金子 央

いつも何度でも 覚 和歌子 作詞 木村 弓 作曲 竹内 一樹 編曲
色 高橋 李嘉 作詞 金子 央 作曲

直江津東中学校合唱部OGによるチームです。先日メンバーの一人が結婚し、そのお祝いに曲を作って、みんなで式に歌いに行きました。今日はその曲を聴いていただけたらと思います。次は誰のための曲ができるかな・・・？

10 歌ごころの会 (上越市・8名)

ピアノ 石黒 順子

抒情小曲集「月の角笛」より うぐいす 武鹿 悦子 作詞 木下 牧子 作曲
女声合唱曲集「すばらしき自然とともに」より
さくらさくら 日本古謡 中田 喜直 編曲
すばらしき自然とともに (遺作) こわせ・たまみ作詞 中田 喜直 作曲 伊藤 幹翁 編曲

歌い合わせる楽しさと喜びを表現し、伝える合唱団を目指しています。歌の歴史を学び、より深く歌えるようになりたいメンバーです。自然と共に、自然体で、心の歌を届けたいと思います。

11 けやきの森ジュニア&ユース合唱団 (妙高市・10名) 指揮 上野正人 ピアノ 丸田芙美子

Ave Maria Op.67-2 G.フォーレ 作曲
同声合唱のための 金色の実 山本 環子 作詞 上田 真樹 作曲

私たちは、小学校2年生から高校2年生までの10人で、月3回土曜日に活動しています。学年や学校は様々ですが、みんな歌うことが大好きな仲間です。今日は皆さんの心に私たちの歌声が届くよう精一杯歌います！

12 コーラスら・ら・ら (上越市・15名)

指揮 池上 裕子 ピアノ 保坂さおり

女声合唱のための「風はきまぐれ」より やなせたかし 作詞 栗山 文昭 作曲
しあわせよカタツムリにのって 青島 広志 編曲
白い街
ロマンチストの豚

やなせたかしさんの優しく心にしみる歌詞を、言葉をはっきりさせて歌うよう指導を受けてきました。部員の高齢化、減少の懸念に心しずむ日々もありますが、今日は歌詞の言葉を大切にしたいと思っています。

13 妙高白狐倶楽部合唱団 (妙高市・15名)

指揮 佐藤 則子 ピアノ 古見 友子

オペラ「白狐」より 岡倉 天心 原作 平井 秀明 作曲
愛の霧の中へ
妖精達の朝

2013年、妙高市において世界初演されたオペラ「白狐」を歌う合唱団です。今年12月には、合唱組曲として「白狐」を演奏する予定です。みなさんも一緒に歌いませんか？

14 グルポ・カントール (上越市・15名)

指揮 金子 央 ピアノ 望月 由紀

ぼよん行進曲 中西圭三・田角有里 作詞 中西 圭三 作曲 郷間 幹男 編曲
今日からはじまる 高丸 もと子 作詞 今成 満 作曲

2008年、こくびき希望館で行われた久比岐野合唱フェスティバルでデビューし、今日15周年を迎えました。9月9日(土)オーレンプラザにて「サンクスコンサート2023」を開催予定です。元気な歌声をお届けできたらと思っています。

15 妙高高原混声合唱団 (妙高市・13名)

指揮 古川 郁 ピアノ 古川 奏音

混声合唱とピアノのための「声が世界を抱きしめます」より
海の比喩 谷川俊太郎 作詞 田中 達也 作曲

少しずつコロナ禍前の日常がもどっています。7月の久比岐野フェスと秋の定演を目標に老骨にムチ打ち練習に励んでいます。健康で歌い続けられますように。そして合唱の仲間が増えますように願い、本日は精一杯歌います。

16 混声合唱団さくら草 (上越市・24名)

指揮 中條 リカ ピアノ 渡部 純子

混声合唱のための組曲「旅」より
かごにのって 田中 清光 作詞 佐藤 真 作曲
真っ赤な太陽 吉岡 治 作詞 原 信夫 作曲 信長 貴富 編曲

言葉、混声のハーモニーを大切に、楽しいなかにも厳しい練習をしています。気持ちをひとつにして、精一杯心を込めて歌いますので、その成果をどうぞお聴きください。

=== 休 憩 ===

17 高田木曜会合唱団 (上越市・25名)

指揮 上野 正人 ピアノ 平野 俊介

前へ 佐藤賢太郎 作詞 佐藤賢太郎 作曲
合唱組曲「ささやかなあいさつ」より
朝やけのとき 杉 みき子 作詞 後藤 丹 作曲

当団は創立70周年を迎えました。合唱連盟の皆さまの長年のご支援に感謝いたします。コロナが落ち着きメンバーも戻り、11月23日の定期演奏会に向け、ラテン語やドイツ語などの宗教曲も楽しく練習しています。

18 合唱団 ぽこ・あ・ぽこ (上越市・8名)

指揮 竹田 光

Ave Maria T.L.de Victoria 作曲
心の瞳 荒木とよひさ 作詞 三木たかし 作曲 田中 達也 編曲

創立25周年を迎えました。11月4日(土)高田城址公園オーレンプラザで、25周年記念演奏会を開きます。アカペラだけでなく、ピアノつきの曲にも挑戦します。いっしょに歌う仲間を募集しています。ぜひ。

19 合唱団YEN (妙高市・5名)

指揮 金子 央

木 高橋 李嘉 作詞 金子 央 作曲
カントリー・ロード (TAKE ME HOME,COUNTRY ROADS) 鈴木麻美子：日本語詞/宮崎駿：補作
B.Danoff/T.Nivert/J.Denver 作曲 大田 桜子 編曲

少人数ですが「合唱大好き」「YENが大好き」なメンバーで活動を続けていくことができました。今日は当団の指導、指揮の金子先生がメンバーの結婚式に寄せて作曲して下さった曲を演奏します。素敵な曲ですよ！

20 うたごえサークルたけのこ (妙高市・15名)

ピアノ 保坂さおり

キエフの鳥の歌 木内 宏治 作詞 ウクライナ民謡 後藤 幸雄 編曲
鳥の歌～パブロ・カザルスへの返歌 外山雄三・井上鑑 作詞 カタルニア民謡 井上 鑑 編曲

こんにちは。うたごえサークルたけのこです。今回はウクライナの人たちを思いながら、平和を願って歌っています。チェロの響きを感じられるでしょうか・・・。

21 コーロ・ファンチュリン (上越市・11名)

指揮 丸山 正子

O magnum pietatis opus C.モンテヴェルディ 作曲
Recordata est Jerusalem dierum G.パレストリーナ 作曲
Canta lo cuco M.ポルデノン 作曲

一人の発声が美しく決まると、「それぞれ」と言うように、皆がうなずきます。合唱の新しい響が訪れると、皆の瞳が輝きます。私たちの個性が明らかになりつつあります。ひとりの声を大切に考えています。

22 男声合唱団ひこばえ (上越市・11名)

ピアノ 佐藤美奈子

男声合唱組曲「水のいのち」より
雨 高野喜久雄 作詞 高田 三郎 作曲
糸 中島みゆき 作詞 中島みゆき 作曲 田中 達也 編曲

上越の地で数少ない男声合唱団です。指揮者・草間満が体調不良で欠場ですが、今回は高田三郎の代表曲「水のいのち」から「雨」と、中島みゆきの「糸」を取り上げました。日曜日の午後、津有地区公民館で練習しています。

=== 休 憩 ===

23 上越ふれあい混声合唱団 (上越市・18名)

指揮 金子 央 ピアノ 岩船 杏子

翼が今 遠山 歌乙 作詞 森本 奨六 作曲 古賀 藍 作曲
君とみた海 若松 欽 作詞 若松 欽 作詞

月3回土曜日の1時から雁木通りプラザで、金子先生の指導をいただき楽しく練習しています。9月30日(土)の午後から文化会館中ホールで、秋のミニコンサートを予定しています。

24 ぐるーぷ・しゃぼんだま (糸魚川市・10名)

広い河の岸辺 八木 倫明 訳詞 スコットランド民謡
雨のち晴レルヤ 北川 悠仁 作詞 佐藤 和哉 作曲

久しぶりの参加で、今日の日を楽しみにしていました。恐る恐る練習していたのがやっと、続けて練習することが出来るようになりました。気の合った仲間とまた歌えることが、こんなに嬉しいことだったとは・・・。

25 合唱団「雪ん子」 (上越市・14名)

指揮 中森 千春 ピアノ 布施 美穂

朝 市 杉 みき子 作詞 大塚 進 編曲
天の川のひとしずく ミマス 作詞 ミマス 作曲 富澤 裕 編曲

私達は昨年12月に、日本のうたごえ名古屋祭典に選ばれ、全国のステージを経験しました。今年3月のオーレンフェスタでは、勝手にガスレシ上越の皆さんと朝市のうたをコラボ演奏し、地域の方々との繋がりが深まりました。

26 女声コーラス ぶらんこ (上越市・17名)

指揮 高橋 利恵 ピアノ 三垣 亮子

女声合唱曲集「ちよこれいと」より
ちよこれいと 竹久 夢二 作詞 信長 貴富 作曲
紅 鷲 竹久 夢二 作詞 信長 貴富 作曲
女声合唱組曲「心の扉～エミリー・ディキンソンの詩による5つの風景」より
夕 陽 なかにしあかね 日本語詞 なかにしあかね 作曲

毎週先生方や仲間と歌い、語り合い楽しく練習に励んできました。マスクなしで伸び伸び自由に歌える幸せ、健康に日々過ごせる喜びを強く感じた数年でした。これからもみんなで心を合せて楽しく歌い続けたいと思います。

27 新井混声合唱団 (妙高市・16名)

指揮 金子 央 ピアノ 古見 友子

少年時代 井上 陽水 作詞 井上陽水・平井夏美 作曲 石若 雅弥 編曲
混声合唱とピアノのための「声が世界を抱きしめます」より
陽 炎 谷川俊太郎 作詞 田中 達也 作曲

毎週合唱が出来るようになり、団員が集まって日常生活の雑事をひとまず忘れて、合唱を楽しみます。お二人の先生方には、いつも感謝しています。女性が増える中、男性はここ数年3人のままです。3人は団の宝物です。

全体講評 後藤 丹 先生 (上越教育大学名誉教授・作曲家)